

ボジョレー・ヌーヴォー速報 2014年

今年もボジョレー・ヌーヴォーの季節がやってくる！

2012年、2013年と厳しいミレジムが続く中で、期待以上の高パフォーマンスを見せた、カリーム、ジャン、そしてフレッドのヌーヴォー。2014年は、前年と打って変わり、ブドウの成長に勢いが見られる！まるで近年押しつぶされていたエネルギーが一気に反発したかのようにぐんぐん成長をしている！開花も全て順調に終わり、成長サイクルとしては収穫の早かった2011年を彷彿させる。このまま天候に支障がなければ豊作、早期収穫に期待が持てる！

そして今年一番のニュースは、やはりなんとと言ってもフレッド。長年親しんだラパンを離れ、新しくケヴィン・デコンブとタグを組みヌーヴォーに新たな旋風を巻き起こす！また、カリームは一昨年借り入れた故ジュール・ショヴェの畑のブドウを新たにヌーヴォーにアッサンブラージュする予定だ。今年は楽しみな話題が満載だ！

☆ カリーム・ヴィオネ

2014年は、今のところ開花も全てうまく行き、ブドウの実がたわわになっている！このまま行けばビッグヴィンテージが期待できそう！その証拠に、私の所有するフルーリーに隣接する畑に古いサ克蘭ボの木が1本あるのだが、6月25日現在でもまだ実が落ちずになり続けている。通常5月には季節の終わるサ克蘭ボだが、今年は春が暑かったのにもかかわらず1ヶ月も実がなっているのだ！食べてみると完熟しているのにまだしっかりと酸がありとても美味しい！ブドウもサ克蘭ボも同じ果物。事実、私の畑では、サ克蘭ボの実の持ちが悪くと大抵ブドウも同じく持ちが悪く、逆に持ちが良ければブドウもしっかりと成熟しやすい。まあ、あくまで目安のひとつではあるが、それでも今年のように6月終わりくらいまで完熟しても実が落ちないのはとても珍しいことだ！

6月10日に雹が降り、ヌーヴォーの区画のひとつ「ランシエ」が被害に遭いブドウに軽くシミをつけたが、今年はさくらんぼのように耐性があるのか、一度黒くシミとなった部分も今はすっかりとれてきれいになっている！

今年は、「シャペル」というムーラン・ア・ヴァンに隣接する故ジュール・ショヴェが所有していた区画のブドウもヌーヴォーにアッサンブラージュする予定だ！（2014年6月25日訪問）



しっかり結実している



この日も快晴！

☆ ジャン・フォワヤール

今年の開花は5月20日頃から始まった。去年と比べるとちょうど1ヶ月も早い！開花は2、3日とあっという間に終わり全てうまく行った。雨は6月10日に40mm、6月17日に11mmの局地的な雷雨が降ったきりで、5月から約2ヶ月降っておらず、病気も見られない！現在畑は多少乾燥気味だが、それでも

地中には冬にたくさん降った雨の貯蓄があるおかげで、依然ブドウは生き生きとした状態を保っている。ただ、ブドウの場合雨が重要なのはこれから収穫までの間で、この間に乾燥しすぎるのも良くないし、雨が多すぎるのももちろん良くないが、ヴェレゾンの前と収穫前に少し雨が降ってくれることは大歓迎だ。

このままのペースでいけば収穫は9月5日前後。夏の天気が良いければ、もしかしたら8月終わりになるかもしれない。今のところはブドウの房もたくさんあるし、病気もほとんどないので順調な限りだが、過去2年間の災難を思うと、楽観視せず収穫まで気を引き締めていきたい。(2014年6月25日訪問)



ブドウは勢いよく成長！



早ければ7月中旬にヴェレゾン開始予定

☆ フレデリック・コサール

9年続いたラパンを離れ、今年からケヴィン・デコンブと一緒に新たなヌーヴォーを手掛ける！コンセプトはシャソルネイのようなエレガントなヌーヴォーだ！新しいエチケットに本家シャソルネイのデザインを選んだことから分かるように、私自身シャソルネイのプライドにかけて最高のヌーヴォーをつくり上げるつもりだ。

ちなみに、今回のヌーヴォーは全て買いブドウで仕込む予定だ。買いブドウは、良いブドウだけセレクトできるという利点があり、多少値が張るが、買い先がしっかりしていれば、毎年安定して高品質のブドウを確保できる。最終的に我々の厳選する買いブドウで仕込むことに決定し、とても満足している！買いブドウ生産者は、もちろん我々と同じエスプリを持っているヴィニョロン。そして、シャソルネイのネゴスと同じように、栽培から収穫まで介入できる生産者を選んでいる！現在、ケヴィンがフットワークよく買いブドウ先の状況を見て回ってくれている。私の経験とケヴィンの才能、そして2人の情熱を注いで、日本の皆さんがアッと驚くような、とびきり美味しいヌーヴォーに仕上げさせてみせる！



ケヴィンはボジョレーのコサール？



ケヴィンのドメーヌの畑も順調！

ここまで、2014年は大いに期待できそうだ！だが、油断は禁物！6月28日深夜にブルゴーニュのコート・ド・ボヌー帯が3年連続となる大規模な雹の被害があった。天気が良く気温が高い分、これからも突然の雷雨と雹のリスクはまだまだありそうだが、次回も朗報をお伝えできると信じています！次回のレポートをどうぞ楽しみに！！